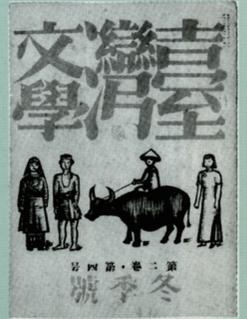


日本統治期台湾文学

中島利郎・河原功・下村作次郎・黄英哲 編

緑蔭書房



研究文献目録



植民地台湾文学・近代日本文学研究者に待望の目録！

編者の言葉

一昨年、中島と河原の共編で『日本統治期台湾文学 日本人作家作品集(全六巻)』を刊行し、昨年は下村、黄が加わって『同 台湾人作家作品集(全六巻)』を、共に緑蔭書房から刊行した。日本統治期の台湾で活躍した台湾人及び日本人作家たちの主要な作品を、発表初出誌等より研究資料的な面を重視して編集復刻したものである。各巻編集に際しては、それぞれ作品に解説をつけ、作家の作品目録及び略歴、そして研究文献目録を付録とした。後者を刊行した直後、ある台湾文学研究者より前者と後者の作品目録と研究文献目録とを一冊にしたら便利ではないかとの提言を受けた。近年來、台湾は勿論日本に於いても台湾研究は盛んになって、研究の分野も広がり、且つ深化している。とは言え、まだ未発掘の資料や基本文献でさえ所在のわからないものも多く、それらを発掘すると同時に既存の作品や作家資料の整理にも力を注がなければならぬのが現状であって、文学ごとに日本統治期の文学研究においては、その感が深い。そこで、先の研究者の言に従い、前二作品集の中より、代表的な作家八名の作品目録と基本文献である当時の文芸誌及び日本に於ける台湾文学研究の現状を鳥瞰できる目録を集めて本書を刊行することにした。

本書の特色

- 本書は、日本統治期の台湾文学を研究する人々のために、基礎的な研究文献を集成したものである。
- 本書は、第一編「主要作家著作目録・研究文献目録」、第二編「戦後日本における台湾文学関係研究文献目録」、補編「日本統治期主要文芸雑誌総目録」及び付録「台湾郷土文学論争関係文献目録」からなる。
- 第一編は、日本統治期に活躍した代表的な台湾人作家「楊逵・張文環・龍瑛宗・呂赫若」及び日本人作家「西川満・濱田隼雄・坂口禰子・中山侑」の八名の「著者目録」と彼らに関する「研究文献目録」である。各作家の著作目録については日本統治期に限定せず処女作より現在に至るまでの作品を出来る限り収録した。
- 第二編は、戦後の日本における台湾文学に関する研究文献目録である。現在に至るまでの台湾文学研究の発展と深化を一望できるように編年式で配列した。
- 補編は、日本統治期に発行された主要文芸専門誌(全11誌)の総目録である。巻末には、一九三〇年より三四年に至る台湾郷土文学論争に関する文献目録を「付録」として掲載した。これは当時の論争そのものの目録であって、三三年以降の文献については今まではほとんど知られていなかった文献である。
- 本書に収録した目録類は「付録」を除いては、すべて別に発表されたものである。しかし今回、本書に再録するに当たっては、各々の目録を、それぞれ担当の編者がより大幅に増補改訂を行った。

1	2	3
4	5	6
7		

表紙の顔写真について
 ①西川満 ②坂口禰子 ③中山侑
 ④楊逵 ⑤呂赫若 ⑥龍瑛宗 ⑦張文環

本書の構成と担当編者

- 第一編 主要作家著作目録・研究文献目録
- I 台湾人作家
- 1 楊逵著作目録・研究文献目録 河原功編
 - 2 張文環著作目録・研究文献目録 柳書琴・陳萬益・中島利郎編
 - 3 龍瑛宗著作目録・研究文献目録 陳萬益・下村作次郎編
 - 4 呂赫若著作目録・研究文献目録 朱家慧・垂水千恵・黄英哲編
- II 日本人作家
- 1 西川満著作目録・研究文献目録 中島利郎編
 - 2 濱田隼雄著作目録・研究文献目録 濱田淑子・河原功編
 - 3 坂口禰子著作目録・研究文献目録 中島利郎編
 - 4 中山侑著作目録 中島利郎編
- 第二編 戦後日本における台湾文学研究文献目録 下村作次郎編
- 補編 日本統治期主要文芸雑誌総目録
- I 総目録
- II 人名索引 中島利郎編
- III 発行一覧
- 付録 台湾郷土文学論争関係文献目録(一九三〇—三四年) 宋宜靜編

R > 』) 中 』1-5 』台 京)

編者紹介

中島 利郎 (なかじま としを)

1947年 北海道小樽市生まれ

関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了

現在 岐阜聖徳学園大学外国語学部教授

河原 功 (かわはら いさお)

1948年 東京生まれ

成蹊大学文学部日本文学科卒業、同大学院修士課程修了

現在 成蹊高等学校教諭

下村 作次郎 (しもむら さくじろう)

1949年 和歌山県新宮市生まれ

関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了

現在 天理大学国際文化学部教授

黄 英哲 (ン イェンテェツ)

1956年 台北市生まれ

立命館大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了

現在 愛知大学現代中国学部助教授

【西川満研究文献】

▼1929年

不明 逸見広「創作選後短評・鉄山丸は動い
『学会雑誌』19)

▼1934年

12-13 草野曠「『媽祖』所感 第二冊を読む

▼1935年

7-5 水蔭萍「南方の部屋 西川満氏」(『

9-10 吉江喬松「『媽祖祭』を手にして」(

9-10 矢野峰人「『媽祖祭』礼讃」(媽祖書

▼1938年

6-1 松風子(島田謹二)「散文詩集『垂片
号』

▼1939年

8-1 黄野人「淡水と三つの小説」(『台湾

12-19 松風子(島田謹二)「華麗島文学志

12月号)

▼1940年

9-22 島田謹二「評論」(日孝山房、西川満

10-1 龍瑛宗「『文芸台湾』作家論」(『文芸台湾』1-9)

12-1 龍瑛宗「文芸評論」(『文芸台湾』1-6)

▼1941年

3-1 禿徹「昭和拾五年度の限定版と特装本」(『書物展望』117号)

5-20 国分直一「手紙 濱田隼雄へ」(『文芸台湾』2-2)

▼1942年

2-1 中村哲「昨今の台湾文学について」(『台湾文学』2-1)

2-1 澁谷精一「文芸時評」(『台湾文学』2-1)

3-20 龍瑛宗「南方の作家たち」(『文芸台湾』3-6)

10-5 国分直一「書評・西川満、池田敏雄著『華麗島民話集』(『民俗台湾』

16)

10-19 鹿子木龍「文芸時評 作品と文章 正しい散文への高揚について」

11-9 「『台湾新文学社』創立宣言」(『台湾新聞』)

11-13 「台湾を代表すべき作品を寄せよ」(『台湾新聞』)

12-28 「私の書齋」(『台湾新文学』創刊号) 林泗文

12-28 「水牛」<小説>(『台湾新文学』創刊号)

■1936年

1-1 「頼和『豊作』」<小説>(『文学案内』2-1 東京)<楊逵評

1-29 「ジャーナリズムと同人雑誌」(『台湾新聞』)

3-1 「文評賞審査委員諸氏に与ふ」(『文学評論』3-3 東京)

3-6 「“全島作家競作号”の計画発表に際して」(『台湾新聞』)

4- 「送報伏」(上海・文化生活出版社『朝鮮台湾短篇小説集』山
中文<胡風訳>5- 「送報伏」(上海・生活書店、世界知識社編『弱小民俗小説選
文<胡風訳>

6-1 「蕃仔鶏」<小説>(『文学案内』2-6 東京)

6-1 「台湾文壇の明日を担ふ人々」(『文学案内』2-6 東京)

6-5 「田園小景 スケッチ・ブックより」<小説>(『台湾新文学』
前半のみ、後半禁止)

9-19 「知哥仔伯」<戯曲>(『台湾新文学』1-8)<狂人>

11-5 「鬼征伐」<小説>(『台湾新文学』1-9)<楊建文>

■1937年

2-5 「報告文学に就て」(『大阪朝日新聞』台湾版)

2-21 「芸術における“台湾らしいもの”について」(『大阪朝日新
台湾版)

3-30~4-2 「首陽園雜記」(『台湾新聞』)

4-25 「報告文学とは何か」(『台湾新民報』)

5-5 「チビの入学試験 台湾風景(その一)」(『土曜日』32 東
<楊逵>

6-15 「報告文学問答」(『台湾新文学』2-5)

「人人」
「南音」
「フォルモサ」
「先發部隊」
「第一線」
「臺灣文藝」(臺灣文藝聯盟)
「臺灣新文學」
「華麗島」
「文藝臺灣」
「臺灣文學」
「臺灣文藝」(臺灣文學奉公會)
「付録」
「新文學月報」

日本統治期台湾文学 研究文献目録

中島利郎・河原功・下村作次郎・黄英哲 編

日本統治期の台湾で活躍した代表的な台湾人・日本人作家八名の著作目録・研究文献目録と基本文献である当時の主要文芸誌総目録、及び戦後の日本における台湾文学研究の現状を鳥瞰できる目録を収めた。

定価＝本体12,000円＋税 ISBN4-89774-027-4 C3098

(A5判・横組・556頁・上製クロス装・ケース入り)

関連図書

日本統治期台湾文学 日本人作家作品集

中島利郎・河原功編 西川満、濱田隼雄、坂口袴子、中山侑、川合三良の代表作品を集成。別巻には内地作家が台湾を描いた作品を収録。植民地台湾文学、近代日本文学の空白をうめる初の本格的な作品集。 全5巻・別巻1 本体58,000円(編集復刻・四六判)

日本統治期台湾文学 台湾人作家作品集

中島利郎・河原功・下村作次郎・黄英哲編 植民地下台湾で活躍した代表的作家である楊逢、呂赫若、龍瑛宗、張文環などの「日本語作品」を集成した日本で最初の本格的な台湾人作家の作品集。別巻には発禁も含め資料的価値の高い「中国語作品」を収録した。 全5巻・別巻1 本体58,000円(編集復刻・四六判)

台湾文学研究の現在

台湾文学論集刊行委員会編 現在の台湾文学研究の高水準を示す最新論集16編を収録。塚本照和古稀記念出版。 本体5,500円(A5判)

周金波日本語作品集

中島利郎・黄英哲編 (内容) 小説/随筆・その他/短歌/講演記録/座談会/周金波略年譜・研究文献目録。 本体5,000円(A5判)

台湾文学の諸相

啞唾之会編[啞唾之会中国文芸叢書2] 台湾文学の珠玉論集。本書は雑誌『啞唾』第29号の解題刊行である。 本体2,500円(四六判)



緑蔭書房

東京都板橋区板橋1-13-1 ☎03-3579-5444

持約店